

令和元(2019)年度 学校関係者評価報告書

令和2年12月1日

学校名：あいち造形デザイン専門学校

1 学校目標

<ul style="list-style-type: none"> ・職員の意識、行動のさらなる活性化 ・社会貢献のための新たな事業の検討 ・国際化の取り組み ・広報力の強化 ・経営の効率化 ・目標、プロセスの見える化
学校目標に対する評価・意見
<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍により社会全体が変わってきていると同時に学校の目的、目標も変化する必要があるかと思う。 ・次年度以降は、大幅な変更が必要ではないかと感じた。 ・各項目の具体的な目標に対して、適正に評価されていて問題ないと考えますので、取り組みを継続していただきたい。 ・各項目とも適切に評価、現状把握がされている。 ・コロナ禍でこれだけ授業を受けられるのは教員の努力があるからこそなので継続してほしい。 ・客観的な視点による授業参観と講評が現場の授業担当者等にフィードバックさせることは視点変化があり良い。 ・コロナ禍での対策が弱いように思う。

2 学校自己評価報告書について

学校自己評価報告書基準	学校自己評価報告書についての評価点の平均		
	自己評価の結果が適切か	改善に向けた取組みが適切か	今後の改善方策が適切か
基準1 (教育理念・目標)	4	3.9	3.8
基準2 (学校運営)	4	3.5	3.8
基準3 (教育活動)	3.9	3.6	3.6
基準4 (学修成果)	4	3.8	3.6
基準5 (学生支援)	3.8	2.9	3.5
基準6 (教育環境)	4	3.8	3.8
基準7 (学生の受入れ募集)	3.9	3.5	3.5
基準8 (財務)	4	4	4
基準9 (法令等の遵守)	4	4	4
基準10 (社会貢献・地域貢献)	3.9	3.4	3.6
基準11 (国際交流)	4	3.4	3.4

3 今後の改善意見

<ul style="list-style-type: none"> ・NewNormalの社会に対応した学習方法や指導、現場の状態にあわせた環境を整える必要がある。 ・画一的な指導ではなく、各学生の個性を生かして伸ばす教育活動をお願いしたい。 ・技術的な面も大切だが、柔軟な発想や気づき・ひらめきを重視し、アイデアの引き出しを多く持てるような指導をお願いしたい。 ・今年度は、イベントがなく似顔絵隊などの活動する場所がないので、そんな場を違う形で作って欲しい。 ・コロナ禍により求められる人間像も変化するため、その変化を踏まえた改善が必要。 ・コロナ禍により就職氷河期に突入するため、その対応を踏まえた改善が必要。 ・卒業生就職者について、他校と比べると基本的な部分を教えることが多い。

4 今後の具体的な改善方策

<ul style="list-style-type: none"> ・実技の指導法は科目(学科)によって違うと思うが、基本に加えてテクニックを教える。 ・デザイン業界だけでなく、各種分野との連携や、社会参加を通じて、学校のブランド化を図っていく。 ・今後も産学連携を積極的に進め、社会貢献に対する意識を高めるとともに、似顔絵プレゼントなどボランティア活動にも学校と教職員は全面的に支援していく。 ・社会人とは何か、本質を学校全体で議論し共有する。
--